

「副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)」 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。
さてこの度、標記項目につきまして、検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内いたします。
誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目/変更内容

● 505 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)

変更内容	新	旧	備考 (総合検査のご案内)
案内書備考欄	ACTHはEDTA濃度増加により測定値が低下するため、容器の指定容量を採取してください。採血後、速やかに血漿分離してください。	溶血検体では測定値が低下傾向となります。ACTHはEDTA濃度増加により測定値が低下するため、容器の指定容量を採取下さい。	添付文書に沿った、検体処理方法へ文言変更
検体取り扱い方法	血漿：早朝安静時に内分泌学用容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。	血漿：早朝安静時に内分泌学用容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。	P.37

変更期日

● 令和4年5月2日(月)受付日分より